

平岸地区 大規模雨水処理施設整備事業計画

(様式1)

項目	内容・施策等
選定理由	<p>(事業の必要性)</p> <p>札幌市平岸地区は、平成26年に時間最大44mm（豊平区土木センター観測）の大雨があり、半地下浸水等の浸水被害が発生したほか、平成27、29年にも浸水被害が発生している地区である。本地区は地下鉄平岸駅や国道453号線などの主要幹線道路を有し、その利便性から商業施設が多く立地する、都市機能が集積した地区であり、さらに避難所、要配慮者関連施設も立地しているため、生命の保護、都市機能の確保の観点から、早急な浸水対策が求められる。なお、本地区は、まちづくりの機運を高めていく拠点として、多くの市民が利用する公共施設を誘導していく地域である、「都市機能誘導区域」に位置付けられている。</p> <p>(該当する地区要件)</p> <p>当該地区は、災害対策基本法に基づく地域防災計画に位置づけられた施設（緊急輸送道路及び災害時基幹病院）が存在する商業・業務施設等の人口が集積している地区である。また、内水浸水シミュレーションにより既往最大降雨（50mm/h）で浸水面積が約18ha想定されることから、地区要件に該当する。</p>
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画におけるハード・ソフト含めた対象降雨：50mm/h ・目標とする理由：大正2年8月に札幌市で記録した既往最大降雨：50mm/h ・ハード整備による整備水準の目標：35mm/h（10年確率） <p>②目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> i)生命の保護の観点：地下鉄駅への浸水を防止する。 ii)都市機能の確保の観点：地下鉄駅への浸水を防止する。緊急輸送道路の浸水深を30cm以下にとどめ、機能保全を図る。 iii)個人財産の保護の観点：床上・床下浸水等の建物被害を軽減する。 iv)その他：特になし <p>③ハード対策，ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <ul style="list-style-type: none"> i)ハード対策 <ul style="list-style-type: none"> 施設整備により35mm/h（10年確率）の降雨において浸水被害を軽減する。 ii)ソフト対策及び自助 <ul style="list-style-type: none"> 内水ハザードマップの作成・公表により情報提供を行い、止水板の設置や土のう積み等の自助行動を促進するとともに、災害対策本部訓練等を実施し、下水道管理者ではない他部局とも連携して被害軽減に取り組むなど、それぞれの主体が対策を実施することにより、施設整備で対象とする降雨を上回る既往最大降雨（50mm/h）等に対して、浸水被害の軽減を図る。

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有 (平成 年 月 日策定済み) ・ 策定予定 (令和3年度策定予定) 			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	雨水管渠の整備 延長 2.10 km
			下水道管理者以外	
		ソフト対策	下水道管理者	内水ハザードマップの作成・公表
			下水道管理者以外	災害対策本部訓練の実施
	自助	ハード対策		地下空間を有する施設における止水板等の設置 自助による土のう積み
		ソフト対策		

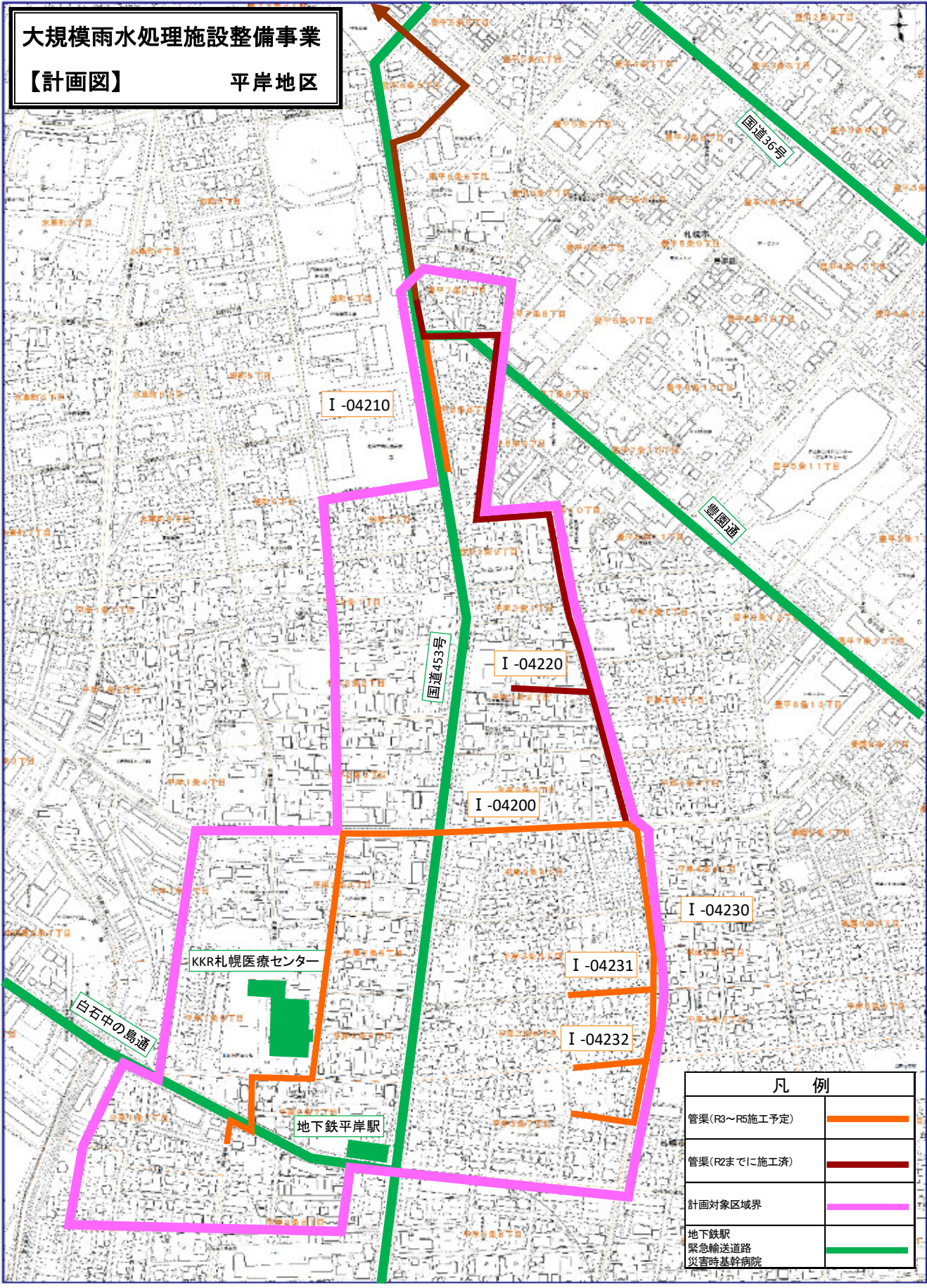
管渠調書							
管渠の名称	処理区の名称	合・雨 の別	内のり寸法 (mm)	延長 (m)	概算事業費 (百万円)	工期	備考
I-04200	豊平川処理区	雨	1,000	120	133	令和3年度	
	豊平川処理区	雨	800	555	533	令和3～4年度	
	豊平川処理区	雨	600	360	286	令和4年度	
	豊平川処理区	雨	400	55	13	令和4年度	
I-04210	豊平川処理区	雨	500	55	39	令和5年度	
	豊平川処理区	雨	400	165	80	令和5年度	
I-04230	豊平川処理区	雨	700	255	230	令和3年度	
	豊平川処理区	雨	500	115	30	令和4年度	
	豊平川処理区	雨	250	195	32	令和5～6年度	
I-04231	豊平川処理区	雨	600	120	34	令和5～6年度	
I-04232	豊平川処理区	雨	500	100	26	令和4年度	
調査検討	豊平川処理区	雨	—	—	20	令和3～4年度	
計				2,095	1,456		

年度計画（百万円）

名称	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計
I-04200	436	529			965
I-04210			119		119
I-04230	230	30	0	32	292
I-04231			0	34	34
I-04232		26			26
調査検討	10	10			20
計	676	595	119	66	1,456

項目	内容・施策等
整備効果	<p><事業評価の内容></p> <p>浸水被害の軽減便益：4,864百万円が削減される。</p> <p>（「下水道事業における費用効果分析マニュアル（案）平成28年12月国土交通省水管理・国土保全局下水道部」に基づき、算定）</p> <p>B/C：1.4（評価期間を50年と設定し、費用対効果を算定）</p> <p>※札幌市平岸地区下水道浸水被害軽減総合計画に位置付けられている、令和元年度～令和6年度の事業に対する費用対効果を記載</p> <p>経済的内部収益率：6.5%</p> <p>ソフト対策、自助の整備効果等：</p> <p>内水ハザードマップの作成・公表により情報提供を行い、止水板の設置や土のう積み等の自助行動を促進するとともに、災害対策本部訓練等を実施し、下水道管理者ではない他部局とも連携して被害軽減に取り組むなど、それぞれの主体が対策を実施することにより、浸水被害の軽減を図る。</p>
放流先河川との調整状況	<p>当該地区の雨水の放流先である豊平川の整備水準は、本計画の整備水準の目標（10年確率降雨）を上回っている。</p>
その他	<p>本計画は、札幌市平岸地区下水道浸水被害軽減総合計画（計画期間：令和元年度～令和6年度）に位置付けられた事業のうち、令和3年度～令和6年度分の事業を対象とするものである。</p>

大規模雨水処理施設整備事業
【計画図】 **平岸地区**



凡 例	
管渠(R3~R5施工予定)	
管渠(R2までに施工済)	
計画対象区域界	
地下鉄駅 緊急輸送道路 災害時基幹病院	

300m

1/5000